

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 4月 27日

学校名 足羽小学校

校長氏名 山北 理吏

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①足羽小学校の敷地内で育てている生き物や植物への愛着を深め、大切に育てていこうとする気持ちを育てます。
- ②水や電気などの資源を大切にします。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。





2 取組内容

- ①生物が育つ環境について考える。
 - ・道徳、生活科、総合的な学習、理科、家庭科の授業、または委員会の時間を中心に、命を育むために実践していることや考えていることを通して、環境について考える。
 - ・中学校区で小中合同の地域清掃活動への参加、学校敷地内のごみ拾いや草取り・落ち葉拾いを行うことを通して、環境について考える。
- ②水や電気の使い方を考える。
 - ・委員会による点検・呼びかけ活動のもと、節水・節電を行い、水や電気の使い方を考える。
- ③ごみ減量・リサイクルについて
 - ・反古紙の利用を推進し、無駄のない使い方を考える。
 - ・地域のごみ分別ルールに従って分別し、リサイクルを実践する。
 - ・アルミ缶や古紙の回収を PTA や地域と連携して実施する。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ③では、なるべくごみを出さないようにすること、またごみとして出されたものをできるだけ資源として使うこと、どうしても使えないごみはきちんと処分することを通して、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできるだけ低くする循環型社会を目指す。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">足羽小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標 (学校の約束)</p> <p>①足羽小学校の敷地内で育てている生き物や植物への愛着を深め、大切に育てていこうとする気持ちを育てます。</p> <p>②水や電気などの資源を大切にします。</p> <p>③ごみを減らし、リサイクルに努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>①生物が育つ環境について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピー委員会では、中庭の池で飼育する金魚とめだかの世話をしており、5年生理科の授業では、そのメダカを観察し、メダカの生育環境等について学び、生命のつながりを考えました。 ・クリーン委員会では、夏花壇・冬花壇の計画と植え替え、毎日の水やり等を、地域ボランティアの方と合同で行いました。また、福井市の「どんぐりプロジェクト」に参画し、どんぐりの木とギフチョウとの関係を学び、自然と生物の環境について考えました。 <p>②水や電気の使い方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン委員会、ヘルス委員会の活動では、教室を空ける場合には電気を消すことや、手洗い時に水を出しっぱなしにしないことを、ポスターや校内放送等で全校児童に呼びかけ、毎日昼休みには節電・節水がなされているか見回り点検をしています。また、学級の係活動でも呼びかけを行っており、児童一人一人が節電・節水の意識をもって活動できるように心がけています。 <p>③ごみ減量・リサイクルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らす3Rと5Rについて家庭科で学習した高学年児童は、物を生かして使う工夫を進んで行う意欲を高め、鉛筆や消しゴムを最後まで使い切ることや、給食の食べ残しがないよう、分け方を工夫するなどの実践をしました。 ・各教室にリサイクルボックスを設置し、紙類の回収を行っています。書写の書き汚しの紙もリサイクルに役立てています。 ・PTAや地域と連携し、アルミ缶や古紙の回収を6月と10月に実施し、3月にも行う予定です。 ・学校敷地内のごみ拾いや草取り・落ち葉拾いを全学級で行い、みんなが過ごしやすい環境づくりを行いました。 	  
<p>★ ESDポイント (取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい)</p> <p>③では、ごみをできるだけ出さない工夫をすることを通して、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできるだけ低くする循環型社会の実現に向けた活動ができました。</p>	
<p>3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <p>② 係や委員会の常時活動として行っているため、全校が節電・節水の意識を共有しやすく、実践することにもつながっていると感じます。</p> <p>【改善点】</p> <p>② 学校をもとに、家庭や地域との連携を進めていきたいです。</p>